

科目名	子どもの保健Ⅲ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	前期			
担当者名	新谷 幸江	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要 子どもの保健活動、疾病予防、事故防止、安全管理など健康と安全について、演習を通して学ぶ。							
到達目標 保育園における保健活動の実際を理解する。 年間の保健活動計画を作成し計画に沿って、発育評価の実際、保健活動の実際、疾病対策、事故対策、感染症予防対策について実技を通して理解する。			成績評価方法 ・定期試験 40% ・演習評価 40% ・プレゼンテーション 10% ・学習に対する態度 10%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				40
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度		○	○	○	○	○	10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○	○	10
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○	○	40
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション	保育における保健活動計画			演習「保健活動計画書作成」			
指導計画	記録と自己評価						
2) 子どもの発育の評価				演習 「小児の測定」 「指数を用いた評価」等			
3) 小児の健康と子育てに必要な養護・しつけ				グループワーク 「セーフティマネージメント」			
4) 基本的な生活習慣の確立				演習 排泄介助 衣類交換			
食事・排泄・着衣 脱衣・清潔・睡眠							
5) 日常に必要な養護：抱っことおんぶの利点と具体的整理				演習 抱っこ おんぶ 食事介助			

6) 子どもの発育・発達と遊び	グループワーク
遊びの意義 遊びの構造と種類 安全性	「遊びの意義と重要性」
7) 子どもの発育・発達と遊び	演習 室内遊びの色々
発達段階と室内遊び	
8) 小児の事故とその予防	グループワーク
小児の事故の特徴・事故やけがの理解と応急処置	「生活様式と事故発生状況」
9) 事故やけがの理解と応急処置	演習 事例：骨折 傷 鼻出血 虫刺され 等
10) 救急処置 年齢に応じた一次救命処置	小テスト
11) 小児に多い病状・病気・対処・予防	演習 小児の観察の実際
感染症における子どもの観察の要点	
12) 小児に多い急性・慢性疾患の主な症状を知る	小テスト
13) 予防接種：定期予防接種と任意予防接種 特徴的な副反応	学生同士で質問
集団生活における予防接種の必要性	
14) 障害をもつ小児と家族への関わり方	演習 コミュニケーション技術
15) 子どもに関わる地域ネットワークシステム	まとめの意見交換
授業外学習	
<p>復習：知識の確認と演習においてはイメージトレーニングをしましょう。 例：オムツ交換の手順など頭の中に描いてみましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの保健 演習」大西文子編集・執筆 (中山書店)	子どもの保健Ⅰ、子どもの保健Ⅱ
備考	